

他覚的視機能検査装置 ORTe アイナック

視機能検査の新たなプラットフォーム

検査項目：

瞳孔検査 眼位検査 9方向眼位検査
眼振 他覚的立体視検査
眼球運動検査（眼球運動速度）等



■ 視線計測技術による他覚応答検査

- ・ 自覚応答を必要としないストレスフリー
- ・ 検査時間の短縮

■ 9方向眼位検査

- ・ 提示される視標を注視するだけで抑制がある場合でも自動測定
- ・ 1分程度の短時間で結果まで表示

■ 眼位及び眼球運動の画像記録

- ・ 検査中、眼の動きを動画及び静止画にて自動記録
- ・ 状態の把握等、客観性が高い画像による診断支援
- ・ 見落としリスクの削減

視力検査、両眼視・眼球運動検査に代表される視機能検査は身近な検査である故に、方法論において大きな変化は認められません。特に眼球運動の評価は長きに渡り Hess 赤緑試験が用いられています。Hess 赤緑試験は自覚的、且つマニュアルな部分も多く結果のばらつきに悩むことが多い実情があります。視線検出技術（人が何を見ているのか計測・可視化する技術）を用いた他覚的視機能検査は以前から様々提案されていますが、近年、異業種異分野のアイデアを組み合わせることで他覚的視機能検査装置「アイナック」が開発されました。

AI 時代に対応して、視機能検査の新たなプラットフォームに発展することが期待されます。

〔北里大学医療衛生学部視覚機能療法学 教授 半田知也先生〕

医療機器届出番号：13B1X00049NA0001